

資料

児童生徒の携帯電話利用状況調査の実施結果について

1 調査対象

校種別	調査校数		有効回答数	
	国公立	私立	児童生徒数	保護者数
小学校（6年生）	20	7	2,581	2,059
中学校（1年生）	14	5	2,402	1,869
高校（1年生）	11	10	2,574	1,548

2 調査結果

(1) 携帯電話の所持率

	小6 (2,581)		中1 (2,402)		高1 (2,574)	
	所持率	スマホ率	所持率	スマホ率	所持率	スマホ率
合計	63.2%	24.6%	69.8%	47.7%	95.4%	85.1%
男子	56.8%	27.0%	62.1%	48.0%	92.3%	82.4%
女子	70.4%	23.0%	78.2%	45.6%	98.3%	87.7%

○ 携帯電話の所持率は学年が上がるにつれ高く、高1では9割超。男女別では女子の所持率が高い。

* 内閣府の調査結果(昨年11月実施・10～17歳を対象)
携帯電話所持率 小学生 27.5%、中学生 51.6%、高校生 98.1%

○ 所持者のうちスマートフォン所持者の占める割合も学年が上がるにつれ高く、高1では8割超。

(2) 家庭におけるルールの設定状況

小6		中1		高1	
保護者(1,231)	児童(1,631)	保護者(1,229)	生徒(1,677)	保護者(1,479)	生徒(2,456)
85.4%	64.5%	87.8%	64.2%	79.1%	37.7%

○ 保護者の約8割が何らかのルールを決めていると回答しているが、児童生徒の回答と認識の違いが見られ、特に高1では顕著。

[ルール別]

	小6		中1		高1	
	保護者(1,231)	児童(1,631)	保護者(1,229)	生徒(1,677)	保護者(1,479)	生徒(2,456)
メール使用制限	39.9%	19.5%	21.8%	8.8%	5.9%	1.0%
サイト利用制限	48.3%	28.9%	54.8%	28.1%	40.4%	13.1%
その他	69.0%	42.2%	75.0%	45.0%	72.1%	26.8%

* 複数回答

(3) フィルタリング利用率

	小6		中1		高1	
	保護者(1,231)	児童(1,631)	保護者(1,229)	生徒(1,677)	保護者(1,479)	生徒(2,456)
利用している	70.2%	53.0%	66.3%	41.3%	43.4%	31.8%

- フィルタリングを利用していると回答した保護者の割合は学年が上がるにつれ低く、高1では5割以下。

* 「フィルタリング利用」は、フィルタリングを設定している場合のほかに、インターネットに接続できない機種・設定の場合を含む。

* 内閣府の調査結果(保護者) 小学生 76.5%、中学生 68.9%、高校生 54.4%

- フィルタリングを利用していない主な理由(保護者回答)
- ・ 子どもを信用している・フィルタリングは必要ない
 - ・ フィルタリングのことをよく知らなかった

(4) 保護者による利用状況の把握

	小6保護者(1,231)	中1保護者(1,229)	高1保護者(1,479)
利用時間	75.6%	71.2%	42.1%
連絡・メール交換相手	78.8%	62.6%	27.0%
利用サイト・アプリ	55.8%	58.9%	37.6%

- 利用状況を把握していると回答した保護者の割合は、高学年ほど低い傾向。

(5) SNS・無料通話等アプリの利用状況

	小6(1,631)		中1(1,677)		高1(2,456)	
	利用率	出会い率	利用率	出会い率	利用率	出会い率
SNS	24.6%	40.3%	31.7%	52.6%	68.8%	49.7%
無料通話等アプリ	22.4%	16.1%	48.6%	29.9%	87.1%	36.4%

* SNS～「モバゲー」「mixi」「グリー」など、知らない者どうしでも交流できるサイト

* 無料通話等アプリ～「LINE」「カカオトーク」「comm」などのコミュニケーションアプリ

* 「出会い率」とは利用者のうち、見ず知らずの人と知り合ったことのある者の割合

- SNS、無料通話等アプリとも利用率は学年が上がるにつれ高く、無料通話等アプリは高1で9割近くが利用。
- SNS利用者で見ず知らずの人と知り合ったことがある者の割合は4～5割、無料通話等アプリでは小6で6人に1人、高1で3人に1人。

(6) 携帯電話やインターネットに起因する被害経験

	小6(2,581)	中1(2,402)	高1(2,574)
被害経験 有	3.1%	3.7%	7.6%
誰にも相談しなかった	28.8%	41.1%	30.1%

- 無断で電話番号や悪口を書き込まれたり、いじめを受けたりした経験のある児童生徒は、各学年で1割以下であるが、そのうち誰にも相談しなかったとの回答が、小6・高1で約3割、中1で約4割。

以上